

数字で見る名寄のいま

※2017年3月現在で把握できる数値を掲載しています。

2015年度に使われたお金は

230億4600万円

市民一人当たり

約80万円

一番大きなお財布「一般会計」の決算額です。この数年でエンレイホールや大学、小学校の改築などにより大きくなってきています。しかし、市民からの「市税」や、国からの「地方交付税」は今後少なくなっていく可能性もあり、適切な事業の選択が大切になります。

1人の女性が生む子どもは

1.52

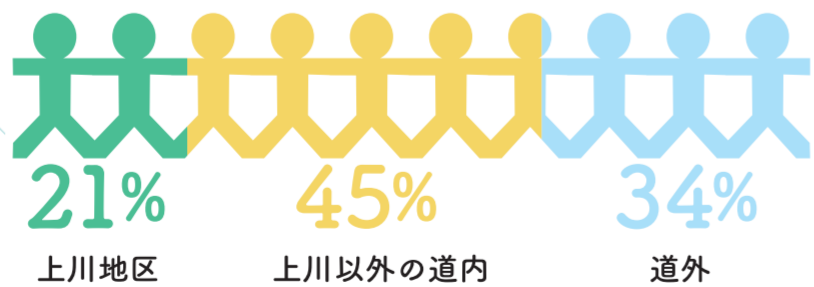
1人の女性が生涯に何人の子どもを生むかを表す「合計特殊出生率」は1.52。全国平均は1.38、北海道平均は1.25。道内の市では留萌市、根室市に次いで3番目に高い値です。

名寄市立大学在籍数は

703人

栄養、看護、社会福祉、社会保育、児童学科からなる本大学の学生の21%が上川地区の出身です。卒業生のうち23%が上川地区に就職しています。

入学者



観光客は

約47万人

道内からの観光客は8割、日帰り客は9割を占めています。

町内会の加入者割合は

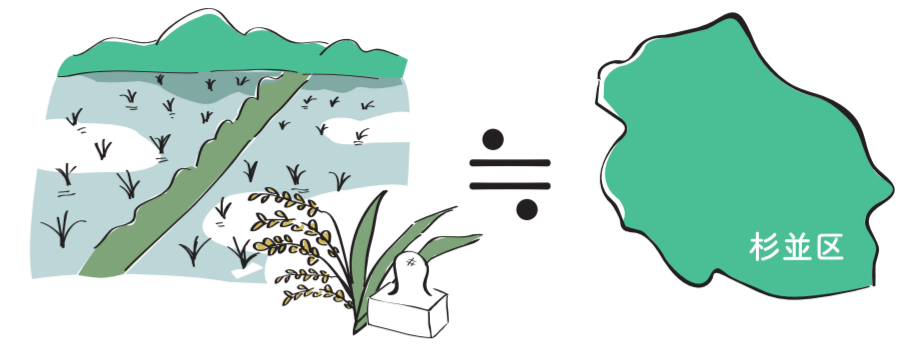
78.1%

市内には81の町内会があり、小学校区を基本とした7つの地域連絡協議会が組織されています。

もち米の作付け面積日本一

3,245ヘクタール

この広さは東京都杉並区とほぼ同じ大きさです。名寄のもち米は、伊勢名物の「赤福」をはじめさまざまな商品に使用されています。ほかにもアスパラやスイートコーン、かぼちゃなど日本でもトップクラスの生産量と質を誇ります。



商店数は

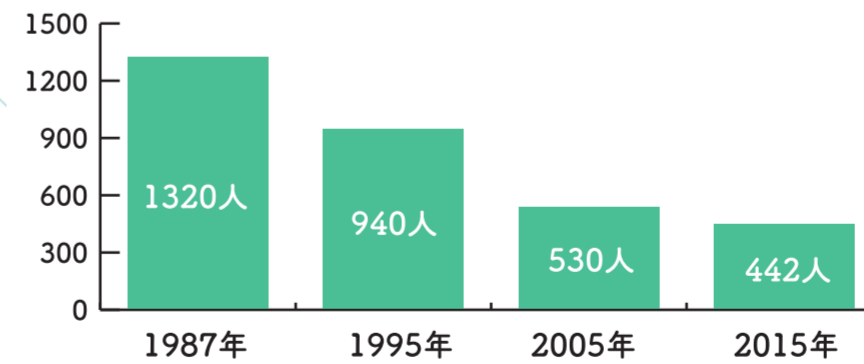
363店舗

卸売業が71店、小売業が292店舗あります。また、飲食・宿泊業は216店です。

名寄駅の乗車数は

1日442人

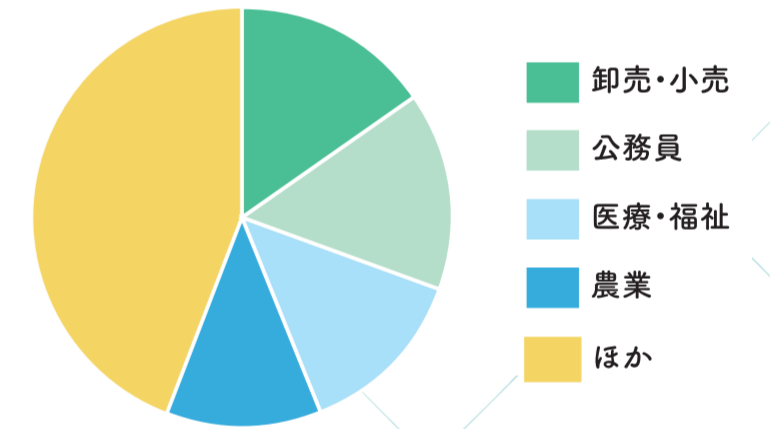
乗車数は年々減少しています。



医療・福祉関係の従事者数は

1,922人

就業者数は全体で14,716人。卸売・小売業従事者が2,282人、公務員は2,222人、農業従事者は1,837人、建設業が997人です。



市が所有する施設は

766

施設の総面積の30%が学校など、22%が公営住宅です。文化・教育やスポーツなどの市民が広く利用する施設は17%です。建築後30年以上が経過したものは全体の42%（面積あたり）と老朽化が進んでいます。

A1. 山形県。開拓地となった曙地区には今も「山形神社」があります。風連地区は富山県から、智恵文地区は青森県から来ています。

Q2. 「電話」が名寄で開通したのは何年でしょう？